

吾妻山

○概況

地震活動は、9月以降穏やかな状態が続いています。
大穴火口（一切経山南側山腹）付近の噴気の状態に変化はみられませんでした。

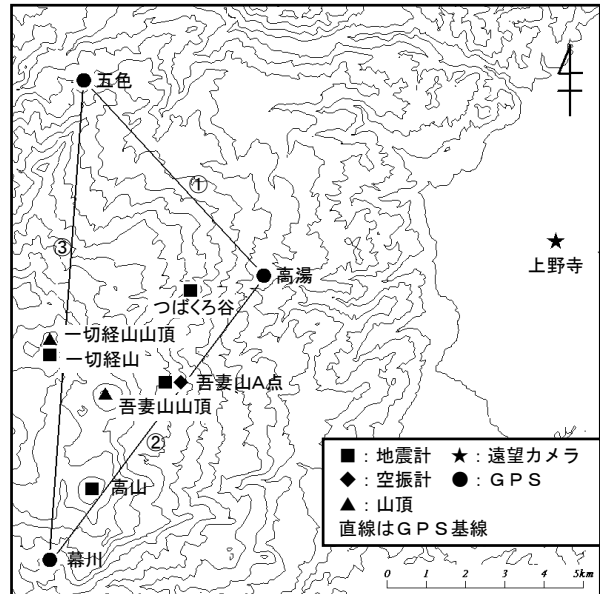
地震活動の状況

火山性地震の月合計回数は31回でした（9月27回）（*）。火山性地震回数は、今年1月をピークに消長を繰り返しながら低下し、9月以降穏やかな状態が続いています。

また、震源が大穴火口直下に求まる地震が観測されていますが、地震の規模はいずれも小さいものでした。

火山性微動は観測されませんでした。

モホ面付近（深さ30km前後）が震源とみられる低周波地震は、観測されませんでした（9月2回）。
*火山性地震回数基準を過去にさかのぼり変更しました。このため、前回（9月）の解説資料の月合計回数と違ってしています。



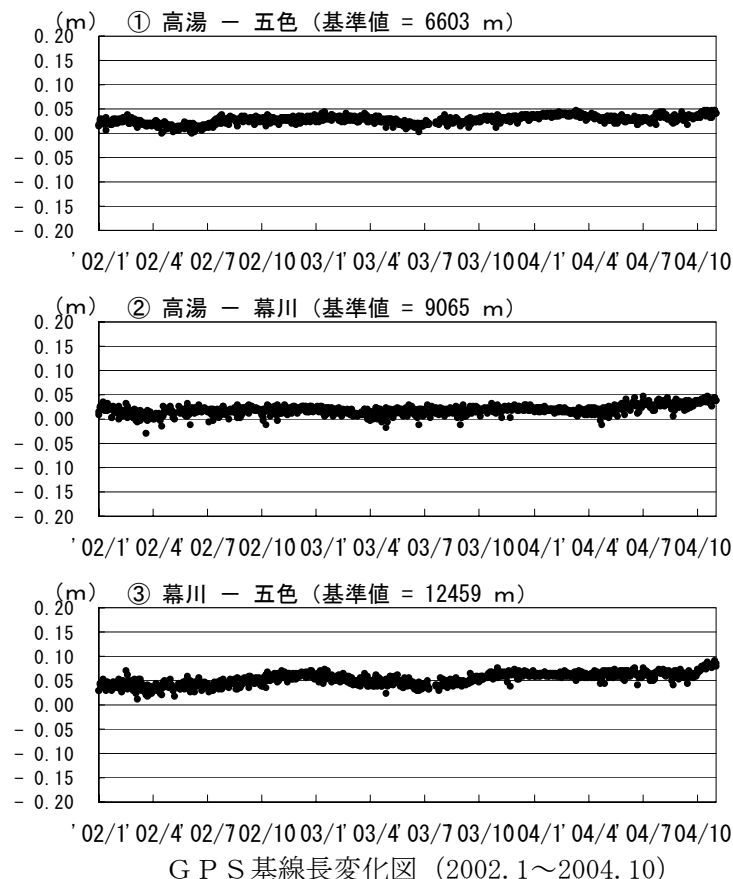
吾妻山火山観測点配置図

噴気活動の状況

遠望観測（監視カメラ）では、大穴火口付近の噴気の高さは80m以下で経過し、先月と比較して大きな変化はありませんでした。

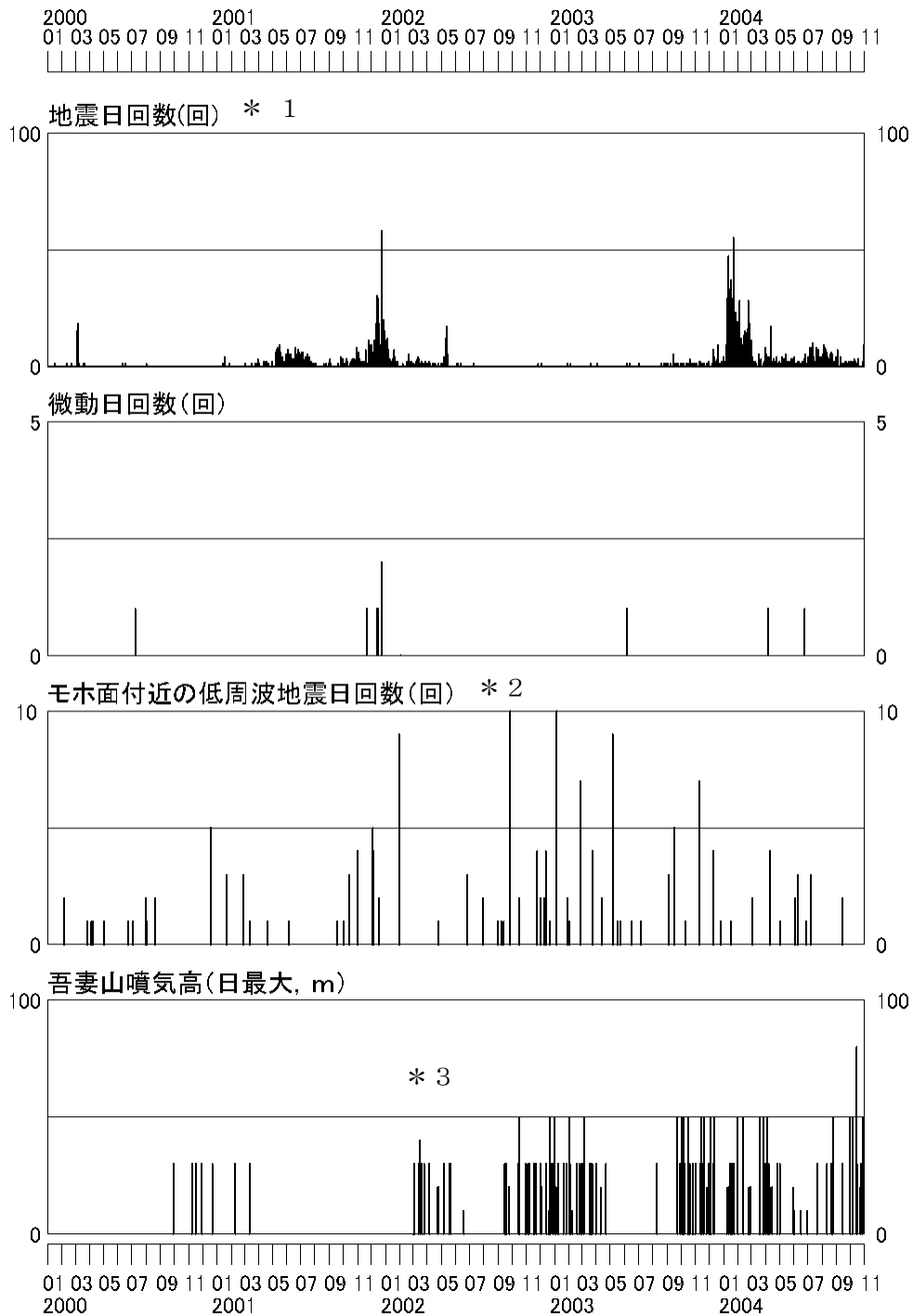
地殻変動の状況

GPSによる観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。

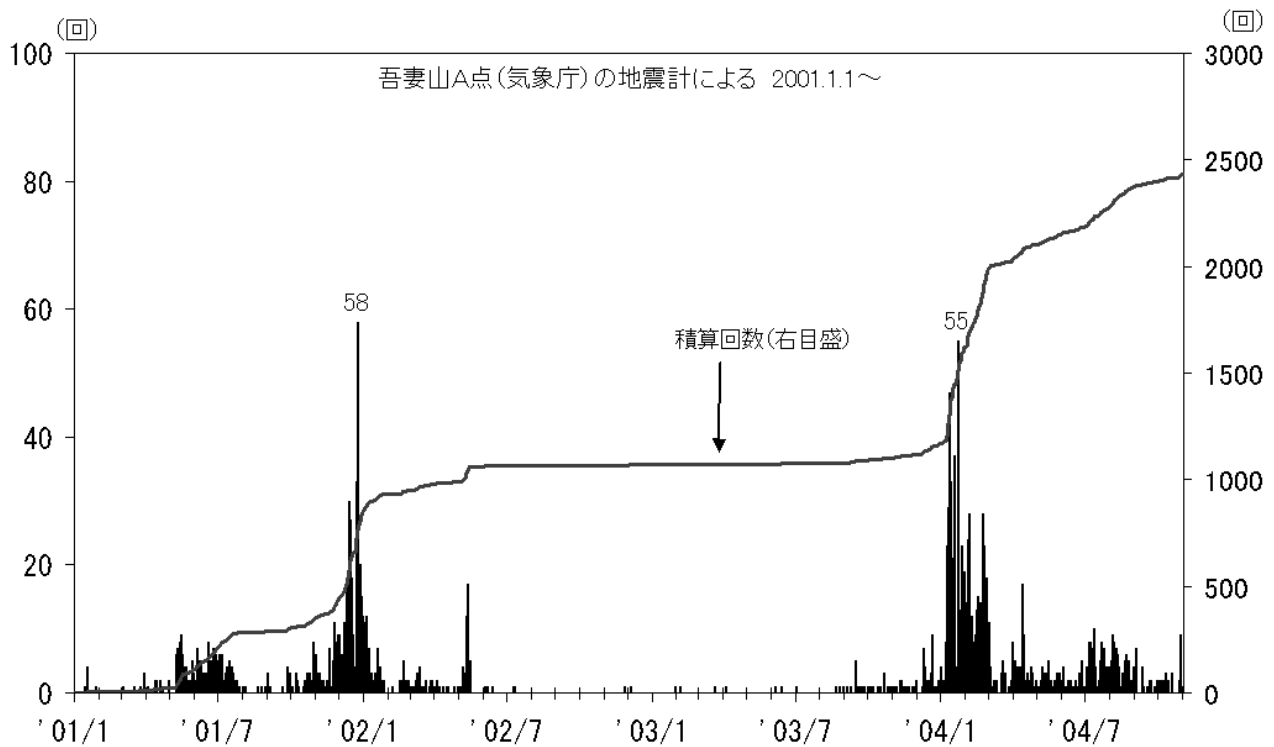


吾妻山 活動一覧

2000/01/01～2004/10/31

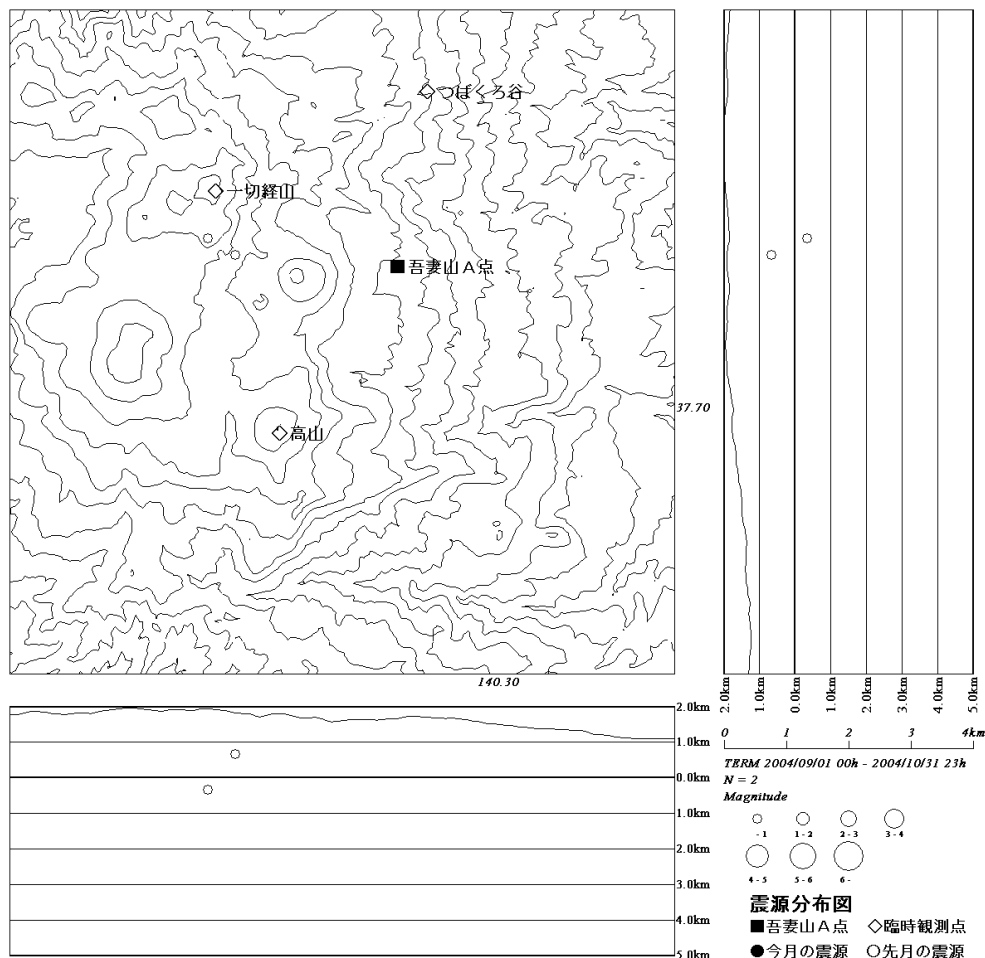


- * 1 地震回数基準を過去にさかのぼり変更しました。このため、前回（9月）以前の解説資料の日回数グラフと違ってしています。
- * 2 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。
- * 3 2002 年 2 月以前は定時及び随時観測データ。
2002 年 3 月以後は収録データにより全時間を精査。



吾妻山A点（気象庁）の地震計による日別地震回数とその積算図(2001. 1. 1～2004. 10. 31)

※ 地震回数基準を過去にさかのぼり変更しました。従って、前回（9月）以前の解説資料の日回数グラフとは異なります。



吾妻山震源分布図(2004. 9. 1～2004. 10. 31)